

外遊びで育む！ 「子供の生きる力」と「地域の子育てコミュニティ」

岡山県勝央町

活動名

勝央町土曜日教育支援事業～英語で遊ぼう！
しょうおうキッズ・冒険遊び場づくり～による活動

関係する学校

勝間田小学校・勝央北小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		5人	15人	25年度	有	無	無	有
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
放課後子供教室	コーディネーター	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	実施場所					開始年度	放課後児童クラブとの連携	
コミュニティスクール	指 定 日				委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

乳幼児・小学生を子育て中の保護者から子供に「生きる力」をつけたいという要望があり、平成25年度から実施している。「英語で遊ぼう！しょうおうキッズ」は、英語が必修授業となる前の学年である町内全ての小学1～4年生を対象とし、保護者同伴での参加を原則としている。親子で楽しみながら外国文化を学ぶことで日本の文化を知る。また、英語への抵抗感をなくし、家庭での親子のコミュニケーションにもつながっている。

「冒険遊び場づくり」も、町内全ての小学生を対象として保護者同伴での参加を原則としている。外遊びを通じて、子供が創意工夫をし、挑戦し、失敗を経験することができる「冒険遊び場」づくりを目指して実施している。また、子育て中の保護者と地域の支援者が協力し合える「地域コミュニティ」づくりにも一役を担っている。

特 徴

【特徴的な活動内容】

「英語で遊ぼう！しょうおうキッズ」

- ALTや町内の英語講師、保護者スタッフが計画から実施まで関わっていくことで、それぞれの立場と経験から、子供に最善の方法で体験を与えることができている。
- 毎回、親子でできる宿題を出し、その宿題を使って講座を進めている。そうすることで、親子の会話が増え、講座への関心と学習意欲を高めることにつながっている。

「冒険遊び場づくり」

- 森林ボランティアきのこの森のメンバーやプレーリーダー等幅広い世代が自分の特技を生かして参加している。
- 保護者の参加を原則としているが、妹弟の参加も受け入れているため、父親を含む一家での参加も多い。

【実施に当たっての工夫】

「英語で遊ぼう！しょうおうキッズ」

- 単に外国文化を知るだけでなく、外国にはない日本のすばらしさを伝える工夫をしている。このことで、自国への興味も持つことができ、身近な発見を家族で話し合う機会となっている。
- 毎回、「名前」「出身地」「好きな動物」が言えるなど1つずつ学習内容を増やし、最終的に自己紹介ができるように展開の工夫をしている。このことで、5回連続シリーズ開催の強みを生かしている。

「冒険遊び場づくり」

- どの講座でも比較的母親の参加が多いが、父親の参加を増やすため、「ものづくり」や「デイキャンプ」等父親の活躍の場を設ける工夫をしている。実際に、父親を含む家族での参加が増えている。
- 森林ボランティアきのこの森や保護者など地域住民の協力を得ているが、世代間で考え方や伝えたいことが違うため、事前打合せや振り返りの場を設けて互いの役割を確認している。このことが、スムーズな事業運営につながっている。



「英語で遊ぼう！しょうおうキッズ」ハロウィン

事業を実施して

- 保護者同士の交流や、地域住民とのコミュニケーションやネットワーク形成の場となっている。
- 保護者に参加していただくことで、危険だからと禁じるのではなく、子供自身の責任で遊ばせるための「親の見守りの範囲」を知る学びの機会になっている。
- 子供は、挑戦や冒険を経験する中で、失敗し、工夫し、乗り越えていく力を身に付けていき、親は身近で子供の成長を実感することができている。
- 幅広い世代の地域住民が参加し、それぞれの特技を生かすことで事業が活性化している。

その他

「冒険遊び場づくり」において、NPO法人備前プレーパークの会と連携し、備前プレーパークの視察を企画・実施した。視察には、講座申込みの親子と、森林ボランティアきのこの森のメンバー、事務局などが参加し、様々な工夫や外遊びの重要性などを学び、それぞれの立場で勝央町が目指すプレーパークについて意見交換した。



「冒険遊び場づくり」外遊びから生まれるネットワーク